



志段味大塚古墳

施設から徒歩数分の場所にあり、当時の姿を復元した帆立貝式古墳。約500本の埴輪の複製品が並び、墳丘上には木棺も復元されている



白鳥塚古墳

尾張で最初につくられた大型前方後円墳。墳丘上は石英で飾られた様子を再現している

約1700年前の祖先が築いた数々の偉大な史跡。「体感!しだみ古墳群ミュージアム」では、文化や生活にいたるまで古墳時代の魅力を生分に味わえる。

施設にはガイドボランティアが常駐しており、毎日ガイドツアーを実施。施設から飛び出して古墳群めぐりが楽しめる。事前予約をすれば東谷山にある尾張戸神社古墳のガイドも用意されている。

現在、スマートフォンアプリの「GO!GO!しだみ古墳群」を配信。現地でもアプリを起動するとARやVRで古墳時代の風景が再現され

古くは「見る!触れる!体験する!」の楽しさがいっぱい。分かりやすいアニメーションやイラストでの解説、さわれる本物の埴輪や古墳の模型など、体を使って古墳時代の魅力を味わえる

「古墳時代の前期から終末期まで、各時期のさまざまな特徴を持った古墳がある志段味古墳群は、まさに『古墳図鑑』といえます。その魅力を伝えるため、子どもも大人も楽しめる場でありたい」と松井館長は目を輝かせる。今年の大規模リニューアルは5月5日の春まつりをはじめ、埴輪ランタづくり、講演会など多彩な催しを企画。今後もさまざまなイベント開催を予定しており、季節の行事も取り入れていきたいと意気込む。

体感!しだみ古墳群ミュージアム

- 住所:守山区大字上志段味字前山1367
- 電話:052-739-0520
- 開館:9時~17時(展示室の最終入室は16時30分)
- 休館:毎週月曜日(祝日は翌平日)、12月29日~1月3日
- 入館:無料(展示室のみ有料200円 ※中学生以下無料)
- 駐車場:無料(特定のイベント時は300円)
- 古墳・緑地部分は常時入場可能
- 駐車場は月曜日も利用可能

連休中スケジュールやイベントなど問い合わせは電話または下記まで
◆ウェブサイト:<https://www.rekishinosato.city.nagoya.jp/>

「SHIDAMU」と大きく書かれた外観が目印。施設を拠点に周辺の古墳をめぐって



歴史とは一秒、一日、一年と時の積み重なり。志段味古墳群をめぐり、皆さんにも古代ロマンを感じてほしいです。



施設に入るとすぐ目に入るのは、志段味古墳群をモチーフにした「SHIDAMU大壁画」。愛知県出身の絵本作家・いわいとしおさんによる描き下ろしだ

巻頭特集
1700年前の古代ロマンに
思いをはせて

体感! しだみ古墳群 ミュージアム



歴史の里マスコットキャラクター
埴輪氏武
しだみちゃん
(はにわうじたける)

古墳とは、3~7世紀にかけてつくられた王や身分が高い人の墓。市内で確認される約200基のうち、3分の1にあたる66基が上志段味にある。市は後世に伝えるため、展示室や活動体験で魅力を発信する「体感!しだみ古墳群ミュージアム(SHIDAMU)」を4月1日にオープン。施設と古墳群に「歴史の里 しだみ古墳群」と名称を付けて整備した。今後も発掘調査や研究を進める予定だ。

志段味に眠る王の臺 古墳時代に築かれた数々の古墳

海と山をつなぎ、物資を載せる船が行き交った庄内川。かつて尾張には、その地の利に注目して整備し、庄内川沿いの人々を束ねる王がいた。王は尾張で初めて前方後円墳をつくったといわれている。

また、古墳の形や埴輪の特徴などから、被葬者たちがヤマト王権と密接な関係にあったことも分かっている。異なる時期、規模、形状の古墳が集中して築かれている志段味古墳群の様子は「日本の古墳時代の縮図」ともいわれている。

また、古墳の形や埴輪の特徴などから、被葬者たちがヤマト王権と密接な関係にあったことも分かっている。異なる時期、規模、形状の古墳が集中して築かれている志段味古墳群の様子は「日本の古墳時代の縮図」ともいわれている。



志段味大塚古墳の王。出土資料から馬に乗って兵士を率いる王の姿を再現



体感!しだみ古墳群ミュージアム 館長
松井致也子さん
老若男女問わず、施設に足を運んでほしいと数々のイベントを企画する。おすすめは東谷山山頂の尾張戸神社古墳

2014年、すでに国の史跡となっていた白鳥塚古墳に加え、尾張戸神社古墳など計7基が「志段味古墳群」として史跡に指定。市は後世に残すため、「歴史の里しだみ古墳群」と名称を付けて整備を進めた。その一環として今年4月1日にオープンした施設が「体感!しだみ古墳群ミュージアム」。施設には展示室、体験活動室、「こどもこふん」、ミュージアムショップのほか、カフェも併設されている。

歴史を体感できる新施設 参加型の仕掛けて魅力発信



古墳にまつわる絵本やおもちゃのほか、歴史のマンガや絵本も揃う「こどもこふん」コーナー。子どもが自由に遊べるスペースもある